

金城学院幼稚園

2026年度

# こどもニュース

4. 14. 発行

No. 2

【ご進級・ご入園おめでとうございます！】

お子様のご進級、ご入園おめでとうございます！

いよいよ2026年度が始まりました。寒暖差の激しい毎日ですが、日中は初夏のような気温になることもあり一気にエントランス前の花壇やプランターの花が咲きました。美しい季節を与えてくださる神様に感謝します。色とりどりの花々に迎えられた6日の親子始業礼拝、春休みは短いので2週間程度ですが、進級した子ども達は身長がグッと伸びていたり顔つきがしっかりしたり、と成長を感じました。

年長さんは憧れの「移動ポケット」にハンカチを入れて登園。沢山の子ども達が「「ホラ！」と見せてくれました。「やりたい!」「したい!」ということ、すぐにはかなえてあげない事も大事ですが、時には「待つ」事も大事です。「年長さんになったら」と待って待って、憧れをふくらませていた「移動ポケット」は大きくなった自分の象徴なのでしょう。

その憧れが子ども達を成長させます。

年中さんも元気いっぱいです。その名の通り、彼らの生きる世界に「真ん中」という価値観が出てきてあっちでもない、こっちでもないと迷ったり、揺れたりすることも多くなりますが、年少さんで芽を出した力がしっかりと「根を張る」時期。表に見えにくくても大地の中で根っこを広げる、この時期を大事にしたいと思います。

それらの豊かな幼児期をたっぷりとした遊びとともに過ごした卒園生の小学生たちが始業礼拝には大勢参列し堂々とした姿を見せてくれました。

暗唱聖句「ひかりの子として歩みなさい」をしっかりと唱え、また讚美歌「ひかりひかり」をちょっと恥ずかしそうに歌ってくれる姿、なにより「礼拝に行こう」と来てくれることが本当



にうれしかったです。なんと遊戯室を出る時には会釈して出ていく姿も！  
胸が一杯になりました。また来てね！

## 【2日間の年中長保育は…！】

始業礼拝後、7日と8日は年中長児保育を行いました。私たちはこの2日間をとっても大事に考えています。

新しいクラス、新しい担任の先生、子ども達なりに進級への期待や不安を胸に登園してきます。そのスタートに丁寧に寄り添い、また「久しぶりの幼稚園だったけど、やっぱり楽しかったー！」という2日間にしたいと願い、スタッフも様々な遊びの準備をして臨みました。不思議な事に始業礼拝を含め3日間で子ども達の表情がグリーンと変わっていきます。それは子ども達自身に「大きくなった」という意識があるからでしょう。異年齢混合、縦割りの保育では身近に「こうなりたい」「次は〇〇ちゃんのようにになる」という具体的な「モデル」がいます。進級した年中さん、年長さんは「自分は〇〇ちゃんのようになった」と実感しているのでしょう。その自覚が子ども達を成長させてくれるのですね。

8日にはさっそく進級して最初の「年長あつまり」「年中あつまり」（年齢ごとの活動をこのように呼んでいます。）がありました。

「年長さんは遊戯室に集まってね」というアナウンスに誇らしげな顔の新年長さん。「遊戯室」というだけで「いよいよだ」と感じているようでしたよ。

「年長あつまり」では、憧れの「じゃがいも」を植えました。昨年度の年長さんも植えていました。一人ひとりが自分の鉢で種芋を植え付けて育てます。去年は並んだ鉢を「これは〇〇ちゃんの」と羨ましそうに見ていた子ども達、いよいよ自分たちが育てる番になりました。自分で水やりをし、収穫したら子ども食堂へ届けたり、にりん草さんをお願いして給食に入れていただいたり…。

それらの説明を遊戯室に自分たちで椅子を並べ背筋を伸ばして聞き入る年長さんでした。

また年長としての「役割」についての確認がありました。そうです、年長さんは園生活を「運営」する役目がたくさん！

「前の年長さんて、どんな事してくれていたっけ？」という質問に「ベル当番!」「KMT!」と次々に答える子ども達。憧れの役割を担う喜びにあふれていました。これらの当番、どのような役割かご存知ですか？「KMT」は何の略？ぜひ子ども達に聞いてみてくださいね！

一方の「年中あつまり」では春の薬草園へお散歩に。クラス毎に手を繋いで並ぶと担当

の先生が「これはなんのあつまりだっけ?」と聞きます。

「ねんちゅうさーん!」「ねんちゅうだよ!」と誇らしげに答える子ども達。お休みのお友達の名前もしっかり言えていてビックリ!これまでの積み重ねで誰が同じ学年のお友達かも、ちゃんとわかっているのですね。素敵でした。

薬草園では、さっそく子ども達が身体を思いっきり動かしていましたよ!

それぞれ今年度はどのようなあつまりになっていくのかこれからが楽しみですね!

## 【泣いてもいいよ、年少さん!】

入園式に続き、10日から年少さんの保育も始まりました。わけもわからず(笑)お迎えに来てくれた先生や年長さんに連れられてクラスへおつかい姿、坂道の途中から「いやだよー」と泣いている姿などなど…年少さんとしてご入園の子ども達は、はじめておうちの人と離れ社会生活をはじめのわけですから心細くなったり悲しくなっても当たり前です。どうぞ、その気持ちを否定したり無理に頑張らせず、おうちの方自身も焦らず、温かく見守りつつ送り出してあげましょう。

年少さんに進級するにじ組さんも新しい環境、新しい生活になります。園生活の経験はあっても(元気で行ってたのに戸惑っているみたい…)という事があるかもしれません。

(早く慣れて元気よく遊んでほしい)と思うのも親としては当然ですが、大人でも新しい環境に慣れるのには時間がかかるものです。「幼稚園が楽しくなる日はきっとくる」と信じて待ちましょう。

とはいえ、心配も尽きないものです。どんな小さな事でもスタッフにお聞きください。

また今年度よりエントランスのメモボックスをなくし「れんらくアプリ」の「その他の連絡」でお子様の体調や心配事等を受け付けています。

アプリでご連絡いただくことで、小さな情報でもスタッフ全員で共有できますので複数で声をかけたり、注意して関わる事が出来ます。これまで通り、細かい事でもぜひお伝えください。

また子ども達の成長を分かち合い喜び合うために、園ではこの「こどもニュース」を発行しています。子ども達の遊びの様子、保育者の想いなど「幼稚園の今!」を載せ随時発行していきます。どうぞよろしく願いいたします。

児玉芽 